

## 2015年NPT再検討会議議長

タウス・フェルキ 殿

「2015年NPT再検討会議」が開催されるにあたり、苫小牧市民を代表してメッセージを送ります。

はじめに、広島・長崎の被爆から70年の節目の年に開催される今再検討会議で議長を務められるタウス・フェルキ大使に心から敬意を表します。

苫小牧市は、平成14年に「非核平和都市条例」を制定し、以来、日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に努めるとともに、国是である非核三原則の主旨を踏まえ、核兵器のない世界の実現に向け取り組んでまいりました。

前回の再検討会議後、世界各国が核軍縮に向けた決意を新たにし、その取組みを推進する一方で、未だ核実験が繰り返されていることが非常に残念でなりません。

広島・長崎のあの惨劇を二度と繰り返さないよう、70年という月日を経た今こそ、世界中全ての国が核兵器廃絶に向けた強い意志を再確認し、ともに歩みを進めていくことを願ってやみません。

今再検討会議が、核のない世界の実現に向け、実り多きものとなることを心からお祈りし、メッセージとさせていただきます。

敬具

苫小牧市長 岩倉 博文